

校長室から

柏原市立玉手中学校

2号 平成31年4月9日発行

学校教育目標

『豊かな心を培い、学びを大切にする生徒の育成』
～出会い、ふれあい、助け合い～

新年度のスタート

新しい学年、新しいクラスで新年度がスタートしました。

中学校生活は3年間しかありません。また、小学校の時と違って、定期テストがあるためか、1年間で早く感じるという声も聞いたことがあります。3年生は、1年後にはこの玉手中学校ではなく、それぞれの進路先になることになります。時間を大切に、充実した日々が送れるようにしましょう。

昨日の始業式の時に、2つのことを話しました。話したことに付け加えて書きたいと思います。

よい習慣を大切にしよう

1つは、

今年の1月にラグビー大学選手権で優勝したのは明治大学でした。去年は決勝戦では帝京大学に敗れ、帝京大学が9連覇したのです。その時の試合は、明治大学が王者の帝京大学からリードを奪う展開でした。ところが終盤に押し込まれ、わずか1点差で涙をのんだのです。明治大学の選手たちは、技術の差以上に、メンタルの差を感じたといいます。その差を埋めるために新たに取り組んだことがあります。それは選手たちが、ふだんの生活の中で、「毎日必ず行うこと」を三つ決めて、毎晩実際にできたか振り返ることでした。監督が選手に求めたのは、どんな状況でも平常心を失わない強さでした。今年も接戦でしたが、その成果もあり、最後まで浮き足立つことなく、相手の攻撃を防いだのです。よい習慣を身につけることによって、脳力までもが向上していくと言われています。

まず、よい習慣として、「あいさつ」を大切にしたいと思います。



「あいさつは、コミュニケーションの基本」です。また、あいさつで大切なことは、相手に気持ちよく「伝える」ことです。大きな声というよりも、相手に心地よく伝わる声や態度が必要です。学校内だけではなく、地域でも「玉手中学校の生徒のあいさつはすばらしいですね」を言われるようにみんなであいさつを大切にしていきたいでしょう。中学校には、外部からのお客さんもたくさん来られますが、特によく来られるのが高校の先生です。多くの中学校をまわっておられる高校の先生から、たくさん誉めていただけることを願っています。



2つめは **クラスをつくるのはみんなの力!**

ということです。

クラスで、「どんなクラスにしたい?」と尋ねると、「楽しいクラスにしたい」、「明るいクラスにしたい」という言葉がよく返ってきます。では、「楽しい、明るいクラス」とはどんなクラスなのでしょう。自分が楽しければ、いごちがよければ、よいクラスでしょうか。そうではないと思います。クラスみんなが「よいクラス」と思えてこそ、本当のよいクラスになると思います。そんなクラスをつくっていくのは誰でしょうか。クラス全員だと思います。まず、大切なことは、「**みんなで協力する**」という気持ちをもつことだと思います。気の合う人、話がしやすい人と仲良く協力するのは簡単です。性格が違う人、違う考え方の人も、そういう人たちとも協力できてこそ、よいクラスができると思います。お互いの違いを認め合い、高め合える集団をつくっていきましょう。

次に大事なことは、「**みんながクラスのために、何かでがんばる**」ということです。学級委員や専門委員になってがんばる人、クラスのいろいろな係になってがんばる人、清掃活動をだれよりもがんばって教室をきれいにしてくれる人、困っている人がいればすぐに声かけができる人、さわやかな大きな声のあいさつで教室を明るくしてくれる人、いろいろな場面で、いろいろな形で、それぞれにがんばることがあると思います。「できる」「できない」ではなく、やる気だと思います。学校の目標でもある「**出会い、ふれあい、助け合い**」を大切に、みんなが活躍し、認め合うことができるクラスにしていきたいでしょう。



お知らせ

10日から武田 康平先生が赴任します。教科は保健体育科です。